

佳作

ずっとかわらないわたしのゆめ

茨城県 日立市立油縄子小学校一年 高橋 椋愛

わたしのしょうらいのゆめは、ようちえんのせんせいです。

わたしがようちえんせいするとき、たんにんをもつてくれた三にんのせんせいがいました。

どんなときもやさしくて、あかるいえがおで、いつもキラキラしていたせんせいたち。

わからないことや、できなかったことをいつもやさしくおしえてくれて、みんながだいすきなせんせいのそんざいに、とてもあこがれていました。

わたしがようちえんのせんせいになりたいとおもったきっかけは、クラスのおともだちからいやなことをされて、ようちえんがいやになったとき、せんせいがたすけてくれて、ちからになってくれたからです。

そんなことがあったわたしは、だいすきなようち

えんにはじめていきたくないとおもいました。

とてもつらかったけど、おとうさん、おかあさん、たんにんのせんせいがわたしの一ばんのみかたになって、ちからになってくれたから、まただいすきなようちえんにいけるようになりました。

なにかあったときに、おともだちにたいしてはつきりつたえられない、がまんしてしまうせいかくだったわたしにきづいて、つたえるゆうきをくれたのも、たんにんのせんせいでした。

せんせいは、「がまんしないでいいんだよ、もあちゃんならできるよ。」

いつもやさしくはげましてくれるたびに、わたしのこころはみたされていました。

そのおかげでいまでは、いえなかったことをしっかりじぶんのくちでつたえられるようになりました。

せんせいになるゆめにむけて、いま一ばんがんばっていることは、ピアノとべんきょうです。ピアノをはじめたころはむずかしくて、レッスンにいくのがいやになったこともありました。がくふもよめないし、ゆびのうごかしかたもおもうようにいかなのがくやしかったです。

そんなときもたんにんのせんせいは、じぶんのけいけんをもとに、いっしょになやんで、ゆうきづけてくれました。にがてだったピアノも、いまではだいすきなピアノになりました。

ようちえんのせんせいになりたいというゆめをもつてたことをたいせつに、みんなからあいされる、そしてたくさんのあいをあたえられるせんせいになるゆめをかなえたいとおもいます。